

東部中学校



東中マスコットキャラクター
「トニー」

地域や社会に視野を向けウェルビーイングを実現する教育活動の推進

- (1) 「体育大会」や「東中祭文化のつどい」といった行事に加え、生徒会の企画や委員会常時活動など、年間を通して生徒の思いや考えを実現できるよう教育的支援を充実させ、東部中学校の特別活動を生徒や地域の方々にとってより魅力的なものに発展させていきます。
- (2) 道徳科の授業や「ハートコンタクト」の活動をさらに充実させ、生徒一人一人が、命の大切さや生きることの喜びについて真剣に考えようとする教育を推進することで、自他のよさを認め合い、個々の違いを受け入れ、よりよく生きようとする集団意識を高めます。
- (3) 「東部ホタル保存部」や「ボランティア部」の活動、総合的な学習の時間の授業などを通して、地域の方々とのつながりを重視した教育活動を充実させ、ホタルの育成や校区の美化・緑化、各学校園等の活動のお手伝いなど、東部中学校区をよりよい町にすることを目指し、生徒が地域に愛着をもって過ごすことのできる生活環境をつくります。

美しい「青空」のように誠実な心をもって心身が生き生きとした生徒を育みます

1 生徒が主体となった特別活動の活性化

昨年度より、「体育大会」や「東中祭文化のつどい」の内容について、生徒会役員を中心に「生徒のアイデアにもとづいた企画」が実現できるよう支援をしてきました。特に、昨年度の体育大会で実施した生徒会考案の「トニリンピック」は、学年の枠を越え、ブロックでチームを編成して、「フリスビー」や「ボール運び」をしながらリレーする競技に、全校生徒の応援も盛り上がりました。生徒はもちろんのこと、参観した保護者の皆様からも好評をいただいたこの競技は、今年度も新たなアイデアを加え、実施される予定です。

今年度は新たな取り組みとして、各委員会や学級から「学校をよりよくするためにどのような活動をすればよいか」という提案を募り、生徒議会で審議することにしました。各委員会や学級からの提案について、学級会で審議し、生徒議会で各学級の意見を出し合った上で議決することで、全校生徒の思いや考えが、より生かされる特別活動を推進します。



トニリンピックと総合優勝
発表の様子（R4年度）



2 生徒の心を育む教育活動の推進

東部中学校では、道徳科の授業に力を入れています。道徳部会の職員を中心に、各学年の道徳教材について話し合ったり、互いに授業を見合ったりして、一人一人の生徒が考え、議論することのできる授業づくりを目指しています。特に今年度は、「いのち」について考える授業に力を入れ、生徒が生命の尊さを日常的に意識して生活できるようになることを目指しています。

生徒が主体となる活動では、今年度が発足 29 年目となる「ハートコンタクト」の活動の活性化にも力を入れています。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症に配慮し、従来大切にしていた定期的な集まりを、生徒の思うように実施できないという悩みがありました。そこで今年度は、11月の「いじめについて考える集会」はもちろんのこと、全校や各学年のハートコンタクトメンバーが定期的に集まっての情報交換会を充実させ、日常的にハートコンタクトのメンバーが活動できるように支援しています。ハートコンタクトのメンバーが中心となって、学級や学年の生徒が感じている問題や不安の種を早期に解決することで、全校生徒が良好な人間関係を基盤とした学校生活を過ごすことができるようにしていきます。



全校集会で挨拶するハートコンタクト外長

3 地域とともにある東部中学校を目指して

昨年度より兼部可能とし、部員が増員した「東部ホテル保存部」は、今年度も3月の放流式で多くのホテルを地域に放つことができるように、精力的に活動しています。当番を決め、部活動のない日であっても、必ず飼育スペースである「ひかりの館」の様子を確認に行く部員の姿から、生き物の命を大切に育てようとする思いと責任感が伝わってきます。

また、今年度は「ボランティア部」の活動を活性化しています。5月には、校区の小学校の運動会に足を運び、片付けのお手伝いをするボランティアを募集したところ、募集人数を上回る希望生徒が集まりました。この他にも、校区の学校園から催し物のお手伝いや清掃ボランティアの依頼、オーケストラ部が地域のイベントでの演奏依頼をいただいたりするなど、地域の方々からも、東中生の存在を頼りにしていただけるようになってきました。生徒もやりがいを感じています。

課外活動だけでなく、授業においても、地域とのつながりを大切にした教育活動を展開しています。3年生の「総合的な学習の時間」では、「S T G s (持続可能な**東中**ゴールズ)」をテーマに、地域のために自分たちから発信できる活動はないかと、追究しています。先日は、市役所や保育園に足を運び、自分たちにも実行することができる地域への貢献活動について取材をしてきました。

このように、さまざまな教育活動を通して、生徒一人一人が「東中生でよかった」と、ウェルビーイングを実感でき、自分や仲間、地域の方々を大切にしながら過ごすことのできる学校を目指します。



ホテルの飼育



上：運動会の片付け
下：オーケストラ部の依頼演奏

